



★細身でありながらワラサも
難なく引き寄せるロッドパワー
VIPER STICK
2351
+
SEABORG
300MJ

ソリッドパワースリム1ピース **New バイパースティック**

●バイパースティックシリーズに追加モデル。ESS設計、高強度カーボンソリッド、メガトップ、X45を採用、本体は総糸巻き仕上げで反発力を弱めてあり、跳ねを減らして仕掛けを安定させる。細身でありながら粘りと強度を実現。バットジョイント1ピースで、しなやかで強度に優れたコマセダイにも理想的なロッドだ。2月発売予定。



●バットジョイントタイプの1ピースロッド

品名	メーカー希望 小売価格	標準自重 (g)	全長 (m)	継数	仕舞寸法 (cm)	先径/元径 (mm)	錘負荷 (号)	適合クランプ サイズ	カーボン 含有率
2351	89,000	310	2.35	1	197	1.4/17.9	60-100	M	93
2551	95,000	320	2.55	1	217	1.4/17.9	60-100	M	93

パワーと柔軟さの両立 **New リーオマスター真鯛SX**

●グラスとカーボン素材の融合により、グラス特有の柔軟性と粘りを備え、持ち重りも軽減したグラテック素材を採用。継ぎはVジョイント設計でまさに1ピースそのもの。ESS設計、X45構造によるネジレ軽減、全体的にしなやかで食い込みやすさを持ちながらコマセの振り出し、大ダイでもコントロールしやすいパワーも持つ進化したコマセダイロッドだ。2月発売予定。



●強さと剛性のエアセンサーシート(ストレート)

品名	メーカー希望 小売価格	標準自重 (g)	全長 (m)	継数	仕舞寸法 (cm)	先径/元径 (mm)	錘負荷 (号)	適合クランプ サイズ	カーボン 含有率
S-255・N	40,600	165	2.55	2	131	1.8/13.3	20-100	SS	41
S-270・N	41,500	170	2.70	2	139	1.8/13.3	20-100	SS	46
S-300・N	42,600	180	3.00	2	154	1.8/13.3	20-100	SS	47
S-330・N	43,300	185	3.30	2	169	1.8/13.3	20-100	SS	47
M-270・N	42,500	170	2.70	2	139	1.9/13.3	40-100	SS	47
M-300・N	43,300	190	3.00	2	154	2.0/13.3	40-100	SS	43

New シーボーグ300J

●自重 560グラム、最大巻き上げ力59キロ、軽さは感度の「LIGHT MONSTER」。ジョグパワーレバー、マグシールド、ATDなどの最新テクノロジーも満載。
●SPEC: ギア比5.1、自重560g、最大ドラグ力16kg、最大巻き上げ力59kg、メーカー希望本体価格82,500円



New シーボーグ300MJ

●Hi、Lo ギア切り替え可能なメガツイン・フロ搭載の「REAL MONSTER MEGATWIN」。シーボーグシリーズのフラッグシップモデル。
●SPEC: ギア比4.4、自重670g、最大巻き上げ力64kg、メーカー希望本体価格113,000円



★2ピースとは思えないリーオマスターの
美しい曲がり。間違いなく大ダイだった
が、サメにやられてしまった
RHEOMASTER
MADAI SX
+
SEABORG
300J

田淵雅生 2021ニューコマセダイロッド 内房のマダイでお披露目釣行

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.62

マダイ最前線

at 内房保田港出船 →



●船中最大は
3キロ級のワ
ラサだった



快適マダイ仕掛SS

●サクサスフック搭載。不意の大型にも安心の編み込み仕上げ。1~2本バリ、ハリス長6、8、10、12m。オープンプライス。

●各社から続々と新製品が発表されるなか、年が明けてダイワ船釣り用品も勢ぞろい。その一つ、コマセダイ用のロッドが2種お披露目となった。一つが全面リニューアルとなった「リーオマスター真鯛SX」、もう一つが追加発売の「バイパースティック」。いち早く田淵雅生さんにこの2種の解説をお願いした。



▲保田沖の釣り場は水深100メートルを超えることも

年末のある日、コマセダイの名手、田淵雅生さんが釣行したのは内房保田港の東丸。周年コマセダイをメインに出船するファンには知られた船宿だ。今回持参した2種の新製品は、ロッドパワーと柔軟性という相反する特性を両立させた新バランス理論(ESS設計)に基づ

いた製品なんです」と田淵さん。保田港出船は港前の水深50、100メートル前後、深場で大型を狙うのがこの時期の特徴だ。まず手にしたのは「リーオマスター真鯛SX」、コマセダイファンなら誰もが知る名竿がリニューアルして登場。全6アイテムあるうち、田淵さんが選んだのはS-300。Sだけで長さ別に4種類あるので、好みで選べるのもありがたい。

「穂先にやや張りを持たせて胴を柔軟に、そしてバット部分はパワーを高めています。これがしなやかなのに操作性を高めた新バランス理論設計なんです。」これによりコマセワーク、大ダイとのヤリトリなどのコントロール性を高めたという。本体はグラスとカーボン素材を融合したグラテック設計でわずか180グラム、グラス特有の粘り強さ、跳ねを抑えた柔軟性も備えている。2本継ぎながらきれいな曲がりを見せるのは、Vジョイント採用のせいだろう。

次に使用したのは「バイパースティック」である。「これはバイパーの追加モデルとなります。従来品と大きく変わったのはバットジョイントの1ピースとなったことです。」長さにより2アイテムあり、今回使用したのは255。見た目で

感じるのは細めの本体と、1ピースならではの美しい曲がり。「ソリッドパワースリムですから。カーボン製なのにグラスのような粘りと柔軟性が自慢です。」カーボンソリッドの上にグリップから穂先まで糸巻きを施すことにより反発力を弱め、跳ねを抑え食い込ませやすくなったのだという。

この日は1メートル近いウネリがあったものの、まるでバイパーが波を押さえつけているかのように、穂先はまったくブレない。

この日は一番に掛けたのは3キロ級のワラサだったが、強く曲がり込んでバラシを防ぎつつ、グイグイと魚を引き寄せるパワー、これも新バランス理論のおかげだ。

「もう一つのショートタイプ235はコントロール性に優れているので、マダイはもちろんコマセのインダイ、シマアジなどシャクリを入れる釣りに最適です。」この日は全体的に食い渋り。田淵さんは大型らしきマダイをサメにウバ食いされるアクシデントもあつたが、土産には十分の釣果を上げて竿を仕舞った。「新バランス理論に基づいた2種の竿、今から乗っ込みが楽しみです。」と夢をはせるのだった。